ふくおか市民政治ネットワーク・宗像

Let's市民力！

～子育て・介護を ひとりぼっちにしないまちに～

Vol.147 2017年1月

宗像市議会議員
笠井　かなえ
（自由ヶ丘２丁目在住）

〒811-3436　宗像市東郷２－４－１５　■事務局長：林田公子
Tel・Fax　0940-37-0700　　Email　munakata@fnet.gr.jp
HP　http://www.fnet.gr.jp/munakata

2.3面の注目記事
・一般質問
・証明書のコンビニ交付について
笠井かなえのコラム

ＪＲの駅名変更 本当に必要？

なぜ駅名変更？

昨年（平成28年）7月25日、「宗像・沖ノ島世界遺産市民の会」より、『ＪＲ駅名変更についての要望書』が市長と市議会議長宛てに提出されました。

要望書では

世界遺産に本登録されると、来訪者が飛躍的に増大する見込み。現在の駅名では、来訪者にわかりにくい。また、宗像というまちをイメージしにくい。世界遺産があるまちにふさわしい駅名に変更すべきとして

・東郷駅を宗像大社口駅へ

世界遺産の玄関口としてふさわしく、来訪者にもわかりやすくする。

・赤間駅を宗像駅へ

市の中心拠点として、市の顔としてふさわしい名前にする。

と変更を要望しています。

「駅の歴史も大事に」という声も

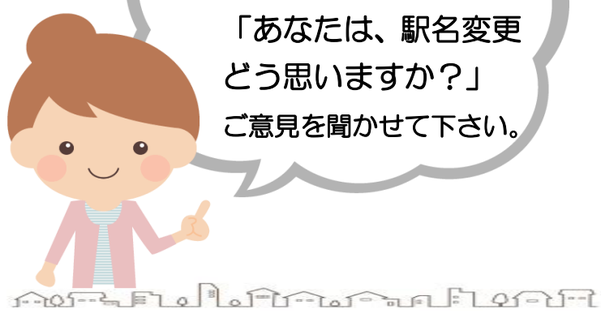
（この要望書に対して市民からメールを頂きました。）

『市民でユネスコ世界文化遺産登録を目指すことには、全く同じ気持ちですが、博多―久留米間に続いて明治23年に博多―赤間間が開業した歴史は大事にしなくていいのでしょうか。博多駅の名称と同様に、九州の鉄道史にとって、赤間駅はとても大事なものです。軽々しく議論すべきものではないと考えます。』

市民の声を広く聞く必要あり

「宗像・沖ノ島世界遺産市民の会」の構成団体には、宗像の歴史や観光等に関わる団体や各コミュニティ運営協議会が入っていますが、「各コミュニティで検討され、了解を得られているのでしょうか。」という声もあります。

駅名変更については10年前（平成18年）にも検討されました。その時は、市民３０００人にアンケートを実施しています（１３２１人が回答）。駅名に愛着がある、経費がかかるなどの理由により反対が賛成を上回り、市民の理解が得られなかった経緯があります。



変更には多額の予算が必要

自治体の要請で駅名変更をする場合の費用は、原則１００％自治体の負担になります。

10年前、３駅全部を変更する場合は、概算で8千万円かかると試算されました。その後のＩＣカード普及などによるシステム変更等を含め、今回の費用は10年前に比べ大幅に増えることは確実です。

駅名変更って本当に必要？

市は平成29年度に、駅名変更による経済効果と来訪者の利便性について調査の予算を計上する予定です（市民に意見を聞く計画はない）。まずは、アンケートを実施したり、説明会をするなど広く市民の声を聞くべきではないでしょうか。

財政難の中、多額の経費をかけて、歴史もあり、市民から愛されてきた駅名を変えることが本当に必要なのか丁寧に時間をかけて検討すべきではないでしょうか。

お手盛り復活？　年金不安は議員だけじゃない！

昨年、自民党本部に地方議員の年金を検討するプロジェクトが発足しました。全国都道府県議会議長会では７月、地方議員が年金に加入できるよう法整備を求める決議をし、１０月には、市議会議長会とともに、**「地方議会議員が被用者年金制度（厚生年金）に加入することを求める意見書」**を国会などに提出することを方針として決定しました。

●国民年金だけでは不安？

理由として、議員も一般サラリーマンや公務員並みの年金に加入できないと老後の生活が不安だという声があり、「幅広い政治参加や人材確保のため必要だ」としています。

政治への参加が広がらないのは、政治への不信感があるからではないでしょうか。議員に挑戦しにくい根本的な理由の解決にはなりません。

●保険料の一部は税金から…

保険料の一部（個人負担と同額）は自治体（すなわち税金）から負担することになります。

（試算によると全国で毎年約 170 億円）。

皆年金制度の元、地方議員も国民年金や厚生年金など何らかの年金制度に加入しています。

国民年金では老後が心配だというのであれば、国民全体の視点に立って、制度そのものを見直すための策を練るべきです。

※地方議会の議員年金制度は、2011 年に廃止されましたが、制度廃止の時点で、すでに議員年金を受給していた人には引き続き支給されています。また、当時現職で在職 12 年以上の人も退職年金か退職一時金を選択できるとされたため、実質的な制度廃止まで約 60 年かかり、全国で最大 1 兆 3600 億円もの税金が投入されると試算されています。宗像市も年金給付事務を行う共済会に毎年多額（平成 27 年度は約 6000 万円）の負担をしています。

まちづくりトーク

～未来をつくる政治の時間～

12 月議会の報告と、あんなことやこんなこと、みんなで話しましょう。何かヒントが見つかるかも…。
ご参加をお待ちしています！！

2 月 9 日（木）　10：00～12：00
自由ヶ丘コミセン　会議室Ｂ

2 月 14 日（火）　10：00～12：00
天平台公民館　和室

申し込み不要、お気軽にお越しください。

仲間になろう！

○ニュース配布ボランティア募集中！

年４回のポスティングです。
枚数やエリアは、マイペースで設定 OK!

○会員募集中！

年会費 1,500 円。お金も、みんなで出し合います。

ふくおか市民政治ネットワークは「地域政党」です。

私たちは、26 年前、宗像市で初めての女性議員を議会に送りだし、介護のこと、子育てのことなど、暮らしの中の課題を井戸端会議で終わらせず、議会に声を届けることで住みたいまちを目指して活動しています。

市のいろいろな制度やお金の使い道は、議会で決定されています。その決定の場に私たちの声を反映させるために、**私たちの代理として、議員を議会に送りだしています。**

交代した議員は、経験を地域活動に活かしながら、現職と一緒に活動を続けています。

市民自治を広げるための３つのルール

1、議員は２期８年で交代
2、活動資金は、議員報酬からの寄付と会費、カンパで
3、選挙はカンパとボランティアで